


発表項目 (行事名)	宗谷総合振興局管内における野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況について(疑い事例:浜頓別町)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 11月17日に浜頓別町内で回収され、簡易検査で陰性であった死亡野鳥(ヒドリガモ1羽)について、環境省から、27日に国立環境研究所で実施した遺伝子検査でA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された旨、連絡がありました。国立環境研究所では、引き続き高病原性の検査を実施します。また、環境省は、各回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>【野生動物対策課 野鳥の高病原性鳥インフルエンザ情報ページ】 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html</p>  <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) 宗谷総合振興局は、野鳥監視重点区域における監視を強化します。なお、現時点で道内において、野鳥の大量死等の異状を認める報告はありません。</p> <p>(2) 回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 宗谷総合振興局海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p>		
参考	<p>○ 現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、病原性は未確定です(高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません)。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ	
担当(連絡先)	<p>・宗谷総合振興局保健環境部環境生活課 環境生活課長: 渡部 学 TEL: 0162-33-2922</p> <p>・宗谷総合振興局産業振興部農務課 農務課長: 片桐 美有紀 TEL: 0162-33-2949</p>		

令和5年（2023年）11月28日 15 時現在

令和5年（2023年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況
 <令和5年（2023年）9月～>

本件	野鳥	回収日	場所		検体情報			簡易	遺伝子	病原性
	○例目	採取日	振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数	検査	検査	
	1例目	10/4	空知	美唄市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	2例目	10/18	釧路	釧路市	死亡野鳥	ノスリ	1	陰性	陽性	高病原性
	3例目	10/26	釧路	釧路市	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	4例目	10/25	根室	別海町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	5例目	10/31	釧路	厚岸町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	6例目	11/6	根室	標津町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	7例目	11/6	根室	別海町	死亡野鳥	ハクチョウ類	1	陰性	陽性	高病原性
	8例目	11/11	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	9例目	11/13	十勝	大樹町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	10例目	11/14	釧路	標茶町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	11例目	11/15	根室	別海町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
●	12例目	11/24	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
●	疑い	11/17	宗谷	浜頓別町	死亡野鳥	ヒドリガモ	1	陰性	陽性	今後、検査
●	疑い	11/19	根室	別海町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	今後、検査
●	疑い	11/19	釧路	厚岸町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	今後、検査
●	疑い	11/19	オホーツク	湧別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	今後、検査
●	疑い	11/20	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	2	陰性	陽性	今後、検査
●	疑い	11/21	オホーツク	湧別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	今後、検査
	疑い	11/22	根室	標津町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	
	疑い	11/26	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	クマタカ	1	陽性	検査中	

死んだ鳥などの野生動物を見つけたら

- 死んでいたり、衰弱している野生動物を見つけたときは、素手で触らないようにしましょう。
- 野生動物やその排泄物に触れた後は、手洗いうがいをしましょう。
- 水辺等に立ち寄って、野鳥の糞を踏んだ場合は、念のために靴底を洗いましょう。

鳥インフルエンザウイルスについて

◇ 同じ場所でたくさんの野鳥が死んでいたら、お住まいの(総合)振興局環境生活課にご連絡ください。

※ 国の基準等に基づき、鳥インフルエンザウイルスの感染が疑われると判断された場合は、(総合)振興局が死体を回収し、感染の有無について検査します。(回収は感染が疑われる場合の検査を目的とするものであり、全ての野生動物の死体を回収するものではありません。)

※ 感染の疑いがない場合は、お住まいの市町村のルールに従い、廃棄物として処分することも可能です。その際は、素手で直接触らず、使い捨て手袋等を使用し、ビニール袋に入れきちんと封をしてください。

鳥インフルエンザウイルスは、感染した動物との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。